

## 大阪広域水道企業団との統合に関する検討状況等について

### 1.他団体の統合の状況

#### ○既統合団体 14団体

平成 29 年 4 月～	〈3 団体〉 四條畷市・太子町・千早赤阪村
平成 31 年 4 月～	〈7 団体〉 泉南市・阪南市・豊能町・能勢町(事業開始は R6)・ 忠岡町・田尻町・岬町
令和 3 年 4 月～	〈4 団体〉 藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町

#### ○令和4年1月に企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結した8団体の状況

統合検討中	東大阪市・八尾市・富田林市・柏原市・岸和田市・高石市
統合を断念	大東市

### 2.現時点における担当部局としての考え方

#### ○広域化の方向性

大阪府水道整備基本構想「おおさか水道ビジョン」

広域化のロードマップ(ステップ 2)における経営の一体化・事業統合

大阪広域水道企業団においては、協議の整った団体と順次統合

#### ○水道事業における統合メリット・デメリット

〈メリット〉

老朽管更新、耐震管率向上に取り組むための早期体制づくり

技術継承問題の解消

施設の最適配置にあたり、広域化等補助金を最大限活用可能

統合による業務の効率化

〈デメリット〉

市、議会の決定権が無くなる

⇒ 統合時期に意見はあるが、方向性としての反対は少ないとの認識

引続き統合を進める方向で手続きを進め、議会にも丁寧な説明を行う